

研究課題別中間評価結果

1. 研究課題名： 拡張ナノ流体デバイス工学によるピコ・フェムトリットル蛋白分子プロセッシング

2. 研究代表者： 北森 武彦 （東京大学大学院工学系研究科 教授）

3. 中間評価結果

要素技術に関する課題を解決しつつあり原理的検証が進行している。予定より早く最終デバイスのシステム化・実応用に取り組んでいる点は高く評価できる。ナノデバイス開発の成果は海外（Nobel Symposia）でも高い評価を受ける等、各要素技術の開発は国際的に高いレベルで達成されており、ナノ流路を用いた研究の発展に大いに寄与すると思われる。各要素技術を統合したシステム化に向けた課題も適切に洗い出されており、引き続き、それらの課題の解決に向けた検討を進めることで、統合されたシステム・デバイスの完成を期待したい。同時に、実用的なシステムを完成させるため、今後は実サンプルを用いた検討を積極的に進めていただききたい。また、タンパク質を網羅的に解析できるシステム開発や、バイオロジーに応用した成果も期待したい。